



2024年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年6月9日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 橋木 孝志

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 2023年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第1四半期の連結業績(2023年2月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	1,004	0.3	176	27.1	193	46.3	143	51.7
2023年1月期第1四半期	1,001	88.5	242		359	62.8	295	60.9

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 143百万円 (51.9%) 2023年1月期第1四半期 298百万円 (56.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	17.01	16.80
2023年1月期第1四半期	34.21	34.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第1四半期	4,600	3,826	82.4
2023年1月期	4,759	4,046	84.3

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 3,791百万円 2023年1月期 4,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期		0.00		30.00	30.00
2024年1月期					
2024年1月期(予想)		0.00		42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,178	2.1	162	68.0	170	73.9	120	77.4	14.32
通期	7,923	84.3	1,615	70.4	1,622	48.5	1,192	35.0	141.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期1Q	11,096,000 株	2023年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2024年1月期1Q	2,731,043 株	2023年1月期	2,665,543 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期1Q	8,411,247 株	2023年1月期1Q	8,651,057 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況です。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、ソニー・インタラクティブエンタテインメントのPlayStation5の供給改善とハードウェアおよびソフトウェア販売の好調ぶりが伝えられています。また、2023年1月～3月の国内eスポーツ大会累計視聴時間は前年より60%増の13.6億分であり、eスポーツの大きな成長ぶりが伝えられています。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、新進気鋭の米国プロレス団体である「All Elite Wrestling」（略称「AEW」）から開発受託した同団体をモデルとしたプロレスゲームの開発が引き続き順調に進行しており、その他複数タイトルの受託ソフトも進行しています。

XR事業分野においては、自社オリジナル技術であるAR Live System「ALiS ZERO」を使い、1月7日～9日に幕張メッセで開催された「プロジェクトセカイ COLORFUL LIVE 2nd - Will -」において、モーションキャプチャー収録、CGモデル・アニメーションの制作を担当いたしました。また、2月から3月にかけて全国5カ所で開催された「初音ミク JAPAN TOUR 2023 ～THUNDERBOLT～」において、初音ミク・鏡音リン・鏡音レンの楽曲の一部についてCG制作を担当いたしました。その他、引き続き複数のライブ開催に寄与しております。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、複数タイトルの映像開発プロジェクトを受託しており、一部は開発が終了しております。

パブリッシング事業分野におきましては、DCコミックスのキャラクターをテーマにしたオンライン・トレーディングカードゲーム「DCデュアルフォース」を引き続き制作中であり、全世界へ向けて配信・発売する予定であります。

その他、モバイルコンテンツ分野も複数のプロジェクト開発が進んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,004百万円（前年同期比0.3%増）、経常利益は193百万円（前年同期比46.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143百万円（前年同期比51.7%減）となりました。

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して159百万円減少し4,600百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少474百万円、売掛金及び契約資産の増加164百万円、ソフトウェア仮勘定の増加211百万円、によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して60百万円増加し773百万円となりました。主な要因としては、未払金の増加83百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して219百万円減少し3,826百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益143百万円、剰余金の配当252百万円、自己株式の増加118百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年1月期決算短信（2023年3月10日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,164	1,413,580
売掛金及び契約資産	885,242	1,049,469
商品	0	0
仕掛品	63,354	38,131
前払費用	241,002	253,917
その他	61,177	7,818
貸倒引当金	△218	△339
流動資産合計	3,138,721	2,762,578
固定資産		
有形固定資産	31,979	36,573
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	899,440	1,110,925
その他	2,329	2,119
無形固定資産合計	901,769	1,113,045
投資その他の資産		
その他	792,159	793,282
貸倒引当金	△104,852	△104,852
投資その他の資産合計	687,307	688,430
固定資産合計	1,621,056	1,838,049
資産合計	4,759,778	4,600,627
負債の部		
流動負債		
未払金	254,993	338,889
未払法人税等	150,638	53,947
契約負債	77	11,646
賞与引当金	101,039	144,204
その他	88,444	108,056
流動負債合計	595,192	656,744
固定負債		
長期末払金	200	200
退職給付に係る負債	117,436	116,443
その他	250	250
固定負債合計	117,886	116,893
負債合計	713,078	773,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	466,215	471,515
利益剰余金	4,040,181	3,930,302
自己株式	△957,988	△1,076,958
株主資本合計	3,961,310	3,737,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,773	53,414
その他の包括利益累計額合計	52,773	53,414
新株予約権	32,615	35,814
純資産合計	4,046,699	3,826,989
負債純資産合計	4,759,778	4,600,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
売上高	1,001,138	1,004,406
売上原価	626,204	657,101
売上総利益	374,934	347,304
販売費及び一般管理費	132,485	170,566
営業利益	242,448	176,737
営業外収益		
受取利息	2,225	3,959
為替差益	111,684	12,426
その他	3,623	745
営業外収益合計	117,533	17,131
営業外費用		
支払利息	110	74
自己株式取得費用	-	499
営業外費用合計	110	574
経常利益	359,872	193,294
税金等調整前四半期純利益	359,872	193,294
法人税等	63,938	50,259
四半期純利益	295,933	143,034
親会社株主に帰属する四半期純利益	295,933	143,034

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	295,933	143,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△469	640
為替換算調整勘定	3,518	-
その他の包括利益合計	3,049	640
四半期包括利益	298,982	143,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,982	143,675
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年4月30日）および当第1四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年4月30日）

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。